

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	介護保険課長	吉田 水香
健福-31	高齢者施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	介護保険課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。
効果	施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

2 令和4年(2022年)度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・介護付有料老人ホームの選定を行った。 ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の開設準備に係る補助金を交付した。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	高齢者入所施設等 整備法人選定委員会 実施事業	法人選定	-	- / -	-	0	
02	グループホーム等 整備事業	開設準備経費等補助	グループホーム定員数	270 / 288	288	0	
03	地域介護・福祉空間整 備等施設整備事業	ブロック塀等の改修	-	- / -	-	1,843	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	30,204 / 167,405	1,229		
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	84 / 156	614		
		事業費の合計 (千円)		30,288 / 167,561	1,843		
		人件費 (千円)			3,843	3,897	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.5	0.5	0.5		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	高齢者入所施設等整備法人選定委員会実施事業	公募に応じる法人等がある場合に委員会を実施する事業であり、目標設定になじまない。	公募に応募してきた法人等のうち、適切に運営できる法人等を選定した。	—
02	グループホーム等整備事業	開設希望の2事業者から補助の申請があり、補助金を交付した。しかし、1事業者については、コロナの影響でスプリンクラーが設置することができなかったため、開設が令和5年度となった。また、小規模多機能型居宅介護事業所については、令和4年度に公募を行ったが応募がなかった。	グループホームが開設され、入所待機者を減らすことができる。	神奈川県補助金を受けるためには、開設時期等の条件があることから、特定財源確保のためにも、開設時期を精査した上で公募をするなど、スケジュール管理を慎重に行う必要がある。
03	地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	本事業は事業者からの申請に基づき行うもので、目標設定になじまない。	高齢者施設等におけるブロック塀の倒壊事故を未然に防ぐことができる。	—
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
第8期鎌倉市高齢者保健福祉計画(令和3年度～5年度)に基づき、計画的に施設を整備していく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	認知症高齢者グループホーム定員数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的整備の達成状況の把握	目標値	252	252	288	288			
	実績値	252	252	270				
	達成率	100.0%	100.0%	93.8%				

指標(単位)	小規模多機能型居宅介護事業所数						単位	事業所数
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的整備の達成状況の把握	目標値	7	7	8	8			
	実績値	7	7	7				
	達成率	100.0%	100.0%	87.5%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	65歳以上人口及び65歳以上高齢化率(令和5年4月1日)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市		
他市実績	53,358人	125,227人	10,186	18,413人	16,638		
	30.82%	32.48%	31.3%	31.31%	40.5%		

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	三浦半島地区の高齢化率は高い状況である。高齢化率が高い比較対象市の施設整備状況を参考にして、本市の施設整備について検討していく。
--------------------------	--